

## 素直な日本人（バカの壁）

ふじた あきじ

子供の頃「遠い親戚より近くの他人」という言葉を聞いたことがあります。「いざと言う時には、遠い親戚よりも近くの人が頼りになる。」ということであった。

ところが最近には逆に「近くの人より遠くの他人」といえるのではないか。身近な人の言うことは先入観から判断して切り捨てて、海を渡ってはるか遠い人の言うことは分からないまま無条件で信じてしまうという日本人のよいところ。このことは海外に限らず身のまわりの組織や人間関係の中でも似たり寄ったり。外面のよいのが日本人とは如何。

グローバルとかユニバーサルデザインとか言って海外の真似をすることだけではなくて、技術開発以外にも文化その他の日本の優れたものをもっともっと世界に発信してほしい。

オートクチュール等のファッション、映画・スポーツ等の娯楽、絵画等の芸術では結構頑張っているが。

牧場や油田でドロドロ、ボロボロになって汗して働いている人の破れたジーンズを真似て、無理やり破いてブランドだと言って町中で履いて見せびらかす田舎者、それを注意しないバカ親。ジェムスディーンも草葉の陰で呆れていることだろう。ブランド紳士服の店でジーンズを履いているバカ店員。下着を上着にするバカ女。紐だらけの大きなリュックサックを背負ったゴキブリスタイルでチョコチョコロし、満員電車の中の客を老人であろうとなかろうとそのリュックで殴りまわすドアホ。

電車に乗ったらドアに向かって立って、続いて乗る人を睨み付けて邪魔をするバカ男やバカ女、これがほんとのバカの壁。

地下鉄やビルの階段に座って、キョロキョロしたりタバコを吸ったりしている若い男女。だらしなくて不衛生、おまけに茶髪にでもしていようものなら、公園のサル山で日向ぼっこをしている山猿とそっくり。

「危険ですから、餌をやったり近づいたりしないで下さい」

投げ網を打って動物園に送り返したい。

海外の人がよいと言うこと、また流行っていることは保険つきのようなものと思っている節がある。そう言えば最近外資にもものを言わして暴れまわっているやつがいる。それでも日本人は平気の平左。自分の主義主張や責任において判断しなくてよい。間違っても自分の責任ではないという一種の逃げにもなっている。

ああ平和ぼけした日本の人々。あれれ、そういう俺も認知症とか言う訳の分からない病に罹ったかな。

惚けないように頑張って、健康保険や介護保険は出来るだけ使わなくて済むように頑張りましょう。